

<小学校総合的な学習の時間部会>

I 研究主題

「第3学年から第6学年までの連続的・関連的な指導と評価の在り方」

II 研究の概要

総合的な学習の時間において、そのねらいとする資質や能力を着実に身に付けさせていくためには、具体的な目標や内容、身に付けさせたい資質や能力を明確にするとともに、教科等で学んだ内容や方法との関連を図り、各学年の連続性を重視した指導を通して、実現のためにふさわしい学習活動の設定や適切な評価を行うことが大切である。

そこで、次の内容について研究開発を進めた。

- ・ 学年相互の関連を大切に、身に付けさせたい資質や能力の設定の在り方
- ・ 各教科や領域との関連を図った指導の在り方
- ・ 児童が身に付けた資質や能力を連続的に活用し、さらに高める指導の在り方
- ・ ねらいの実現状況の適切な評価と指導の一体化

研究の内容

◆ 身に付けたい資質や能力の設定

総合的な学習の時間において身に付けたい資質や能力については、評価の観点の趣旨を明確にし、各学年段階を考慮して設定することが必要である。

そこで、多くの学校において評価の観点として位置付けられている「課題設定の力」「問題解決の力」「表現力」「自己の生き方」の4観点を例に、2学年ごとの観点の趣旨とこれを実現している児童の姿（評価規準の例）を設定した。

◆ 連続的・関連的な指導の工夫

各教科等において身に付けた内容や方法との関連を図った指導や、児童が各教科や総合的な学習の時間等において身に付けた資質・能力を連続的に活用し、さらに高めるといった視点に立った指導の在り方を示す。

◆ 資質や能力の適切な評価の仕方の工夫

児童自身の自己評価や相互評価を積極的に取り入れ、評価に基づく教師の適切な指導とともに、児童自身が自分の状況を知り、さらに自分自身を高める努力の方向等をつかむことができるような評価の在り方を示す。

指導事例Ⅰ

A 小学校 第4学年
「公園たんてい団」

- 課題設定までの手順や考えの深まりを大切に
した指導と評価

指導事例Ⅱ

B 小学校 第6学年
「レッツ・ボランティア！」

- 振り返りカードによる自己
評価を生かした、課題追究
における指導と評価

指導事例Ⅲ

C 小学校 第3学年
「成瀬の自然をさぐるう」

- 学習のあしあとを継続的
に作品化していく過程に
おける指導と評価

II 研究の内容

学習指導要領には、総合的な学習の時間の目標や内容は示されていない。そこで各学校において、この時間における目標や内容を設定することが必要となる。その際、評価の観点を定め、児童にどのような力が身に付いたかを明らかにしていくことが重要である。

本部会では、多くの学校が評価の観点として位置付けていると思われる「課題設定の力」「問題解決の力」「表現力」「自己の生き方」の4つを取り上げ、それぞれにおいて、各学年段階を考慮し、具体的にどのような力をはぐくもうとしているのかを、観点の趣旨として「趣旨」の欄に示した。なお、総合的な学習の時間の内容については省いたために、内容のまとまりごとの評価規準を設定することは困難となった。そこで、評価規準の一例として、観点ごとに「おおむね満足できる状況」を「実現している子どもの姿」の欄に示した。

次に、これらの力をはぐくむためには、各教科等において身に付けた内容や方法との関連を図った指導や、児童が各教科や総合的な学習の時間等において身に付けた資質・能力を連続的に活用し、さらに高めるという視点に立った指導、すなわち「連続的・関連的な指導」が重要であると考え、指導の工夫や評価方法について示した。

各学校においては、これを一つの例として、評価の観点の趣旨及び評価規準の設定、学年相互の関連や各教科・領域との関連を図り、児童が身に付けた資質や能力を連続的に活用し、さらに高める指導と評価についての計画に参考とされるよう望むものである。

1 課題設定の力

	中 学 年	高 学 年
種 旨	○体験や身近な生活の中から、自分の思いや願いを生かした課題を選んだり見つけたりする。 (身の回りの自然や生き物、地域社会等を対象に)	○身近な生活や地域、社会の出来事などを様々な視点から見つめ直し、自分にとって価値ある課題を見いだす。 (生活や地域・社会でおこる事象等を対象に)
実 現 し て い る 子 ど も の 姿	<ul style="list-style-type: none"> ・体験や今までの生活経験、学習経験を振り返りながら、疑問に思ったことやもっと知りたいこと、やってみたいことを考えている。 ・自分の思いや願いを大切に、いくつかの課題の中から、自分の思いや願いにあった課題を選んだり、体験や生活の中から課題を見つけようとする。 ・課題解決に向けて、どのようなことをしたらいいか大まかにつかんでいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生活経験や学習経験を生かして、自分自身や社会、自然等を見つめ直し、疑問点や問題点を考えている。 ・疑問や問題意識を、様々な視点から見つめ、追究の目的を明確にした具体的な課題に練り上げようとする。 ・課題解決までの大まかな見通しをもって課題を設定している。

体験や経験、資料等から自分の追究課題を設定させる

指 導 の 工 夫	<ul style="list-style-type: none"> ●町探検、公園探検などでの直接体験をさせる ●学級全体で共通体験をさせる ●具体的な課題を提示し児童に課題選択させる ●課題について、解決したい理由やその解決方法について話し合う場を設定する ●学級全体でウェビングをし、方法を獲得させる ●教師のリードによりKJ法を取り入れる 	<ul style="list-style-type: none"> ●視点を交えて地域調査等（車椅子での調査等）を行わせる ●教科の学習をもとに、さらに調べたいことや、やってみたいことを話し合う場を設定する ●課題を設定した理由や根拠を明確にさせる ●ウェビングを自発的に取り入れさせる ●KJ法を自発的に取り入れさせる
評 価	<ul style="list-style-type: none"> ◇事前の実態調査（教科等で培った課題設定の力・興味関心の対象等）とその分析 ◇調査や体験における行動・表情等の観察 ◇対話 	<ul style="list-style-type: none"> ◇発言やワークシート等の記述の分析 ◇課題設定までの継続的な評価記録

教 科 等 と の 関 連	<p>各教科等から得た知識から生じた疑問やもっと知りたい事柄などを基に問題を見出す。</p> <p>社会 □社会的事象を具体的に観察、調査したり、社会的事象にかかわる各種資料を活用したりしながら、それらを比較、関連付けて学習問題をつくる。</p> <p>理科 □比較したり、関係付けたり、かかわる条件に目を向けたり、要因と関係づけたりしながら問題を見出す。</p>
---------------------------------	--

2. 問題解決の力

	中 学 年	高 学 年
趣 旨	○大まかな見通しをもち、具体的な活動を中心にしていろいろな方法で課題を解決する。	○具体的な計画を立て、課題に応じた適切な方法で追究し、よりよく課題を解決する。
実 現 して いる 子 ども の 姿	<ul style="list-style-type: none"> 何を、どのように追究して、どのようにまとめるのかをつかんでいる。 観察や見学、聞き取りなど具体的な活動を通して調べようとする。 友達や先生の意見やアドバイスを聞いて、それを生かそうとする。 友達と協力し、いろいろな人から情報を得たり、教わったりしようとする。 他教科・領域で学んだことを振り返りながら、課題解決に生かしている。 自分や他の人々の考えを比べながら、その共通点や相違点を見つけている。 自分の考えや解決方法、追究に取り組む姿勢など学びのよさに気づいている。 分かったことや考えたこと、追究の過程を具体的に振り返り、次にすることをつかんでいる。 友達の学びのいいところを見つけようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の課題について予想を立て、具体的な学習計画を立て、解決の見通しをもって追究している。 自分の課題に適した効果的な方法で資料を収集したり調べたりしようとする。 他の人からのアドバイスを進んでとりいれ、よりよく課題を解決しようとする。 自他の考えを尊重し合い、様々な立場の人々と主体的にかかわり、課題を解決しようとする。 他教科・領域で学んだことを積極的に生かし、課題解決をしている。 自分の考えと他の考えを比較、関連、総合させながら、考えを深めている。 事象を広い視野からとらえ、様々な立場に立ってよりよい考えをもつことができる。 自分の学びを視点をもって振り返り、成果と課題をつかむとともに、計画を修正しながらよりよく課題解決をしている。 友達の学びのよさや課題に気づき、自分の学びに生かしている。



追究の見通しをもち、課題解決に適した方法で課題を追究させる		
指 導 の 工 夫	<ul style="list-style-type: none"> ●学習計画を自分の言葉で書かせる ●情報交換や中間報告会、追究の経過や成果の掲示等による学び合いの場を設定する ●多様な調べ方やまとめ方を体験させたり、選択させたりする ●振り返りカード等を活用した自己評価や中間報告会などにおける話し合いによる相互評価を取り入れる 	<ul style="list-style-type: none"> ●予想を立て、具体的な学習計画を立てさせる ●情報交換や中間報告会、追究の経過や成果の掲示等による学び合いの場を積極的に活用させる ●学び方カード（調べ方、まとめ方等）を活用した、効果的で主体的な追究を考えさせる ●追究の過程を振り返り、計画を見直させる ●振り返りカード等を活用した継続的な自己評価やアドバイスカード等を活用した相互評価を取り入れる
評 価	◇行動・表情等の観察 ◇対話 ◇学習計画、ワークシート等の記述、発言・つぶやきの分析 ◇振り返りカードによる自己評価 ◇アドバイスカード等への記述	



教 科 等 と の 関 連	国語	□目的や質問内容を明確にして、適切な言葉遣いでインタビューする。
	算数	□表やグラフを読み取る。資料を表やグラフに効果的に整理する。
	社会	□観察や調査をしたり、具体的資料、基礎的資料を効果的に活用して調べる □特色や相互の関連、事象の意味についてより広い視野から考える
	理科	□問題解決の方法を考え、観察実験などを行い、過程や結果について総合に話し合いながら科学的な見方や考え方を深める。

3. 表現力

	中 学 年	高 学 年
趣 旨	○伝えたいことをさまざまな表現方法でわかりやすく表現する。	○伝えたいことを相手の立場を考え、効果的に伝える方法を考えて表現する。
実 現 して いる 姿	<ul style="list-style-type: none"> ・解決したい課題や、その計画・方法について、聞く人にわかりやすく伝えている。 ・互いの学びについて気づいたことを、助言し合っている。 ・他教科で学んだ表現方法や技能を活用しようとする。 ・伝えたい相手や内容・目的に合った表現手段を選んでいる。 ・活動を通して得た気づきや、自分のこれからの学習や生活につなげて考えたことを、わかりやすく表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・活動状況や課題の解決方法等、互いの学びについて相手の反応を確認しながら共感的に意見交換をしている。 ・他教科で学んだ表現方法や技能の特徴を生かして、複合的に活用している。 ・伝えたいことを、相手意識や目的意識をもって内容を吟味し、効果的に伝える方法を考えている。 ・相手と自分の関係を考えて、伝えたい内容や適切な表現手段を選んでいる。 ・活動の成果や課題から自分の生き方を見通して考えたことを、より多くの人に伝え働きかける方法を考えている。

追究活動における学びや気づき、考えや思いを効果的な方法で表現させる

指 導 の 工 夫	<ul style="list-style-type: none"> ●意見交換や学習発表の場を設定する ●他教科で獲得した表現方法の想起・活用を促す ●多様な表現法を紹介し体験させて、根拠をもった選択をさせる ●集めた情報を蓄積・整理させる ●アドバイスカード（相互評価カード）等を用い、友達の意見等を取り入れることを考えさせる 	<ul style="list-style-type: none"> ●意見交流会や中間発表会などの情報交換の場や学習発表の場を設定する ●他教科・領域で獲得した表現方法の効果的な活用を促す ●集めた情報を蓄積・整理して、取捨選択し、効果的な方法でまとめさせる ●相互評価を活用させる
評 価	◇記録の分析（自己評価・相互評価カード、ワークシート、ノート等） ◇行動・発言の分析（意見交流会、中間発表会、プレゼンテーション、ポスターセッション、実演、体験活動等） ◇作品の内容や記述の分析（発表会等のために作成した資料、ホームページ、作文・意見文・手紙、造形・映像作品等）	

教 科 等 と の 関 連	国 語	<input type="checkbox"/> 経験したことを記録文や新聞などに表す。 <input type="checkbox"/> 礼状や依頼文などの手紙を書く。
	社 会	<input type="checkbox"/> 調べたことを分かりやすく効果的にまとめる。
	算 数	<input type="checkbox"/> 調べた事柄や考え方等を表、グラフや絵、図等に整理してまとめる。
	理 科	<input type="checkbox"/> 実験や観察の結果等を絵、図や表、グラフ等にまとめる。

4. 「自己の生き方」について

	中 学 年	高 学 年
趣 旨	<ul style="list-style-type: none"> ○自分や友達の良いところに気付いたり、身近な周りの人々にかかわったりする。 ○学習したことを自分の生活に生かしたり、自分の生活を見直したりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○自分や友達よさや成長を認めるとともに、立場や考えの違う人々とも進んでかかわる。 ○学習したことを自分の生活に生かすとともに、学校や地域に働きかけ、身の周りをよりよくしていこうとする。
実 現 して いる 子 ども の 姿	<ul style="list-style-type: none"> ・自分のよい所に気づいたり、自分の考えをもったりして、自分を変えようとする。 ・他教科で得たことを、総合の時間に取り入れたり、学習したことから自分の生活を見直したりする。 ・自分の生活の中で、できることは何か考え、行動する。 ・友達の良い所に気付く。 ・様々な立場や考えの違う人々がいることに気付く。 ・自分と他の人とのかかわり合いに気付く。 ・地域の施設や人とふれあう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分に自信をもち、積極的に行動することで、よさを伸ばしていく。 ・自分の考えや意見をもち、主張することで、願いや思いを実現していこうとする。 ・自分の身近な所で、できることは何か考え、実際に働きかけたり、行動したりする。 ・よりよい生き方や自分の将来について考えたり、自己の生き方の自覚を深めたりする。 ・友達の良い所を認め、自分の学習に取り入れたり、生かしたりする。 ・立場や考えの違う人に気付くとともに、それらの人々とも進んでかかわろうとする。 ・自分と社会とのかかわり合いに気付く。

自己の学習を振り返って生活に生かしたり、人々とのかかわり合いを深めたりすることなどを通して、さらに学びを広げさせる。

指 導 工 夫	<ul style="list-style-type: none"> ●課題、気付いたこと、感想などを順序よくまとめ、自分の学習を振り返る時間を設ける ●情報交換や中間報告会、話し合いを通し、自分や友達の良いところに気付けるようにする ●学習に関連するゲストティーチャーなどを学校に招き、児童に人や地域とのかかわり合いを行う機会を設ける ●他教科で得た知識を生かしたり、総合で学んだことを他教科に還元できるように働きかける ●学習したことから生活を見つめ直したり、よりよくするにはどうしたらよいか考えたりさせる 	<ul style="list-style-type: none"> ●自分のこれまでの学習をふりかえり、よくなった点や変わった点など自己の成長に気付かせる ●情報交換や中間報告会、話し合いを通し、自分や友達よさを認め合い、さらに生かせるようにする ●自らの学習に関連する人や地域の施設等に主体的に働きかけ、学びを深めさせる ●他教科で得た知識を生かし、自分の学習をよりよいものにさせる ●学習したことから自分や周りの生活を見つめ直し、よりよいものにしよう働きかける
評 価	<ul style="list-style-type: none"> ・学習カード等の記述や行動の分析（自己評価、相互評価を行い自己の学びに生かすという視点から） ・日常生活や人とのかかわりの中での児童の発言、行動観察。 ・学習の経過やまとめ（他教科での「学び」や自己の生活に生かしているか等の視点から） 	

社 会	□自己を振り返り、地域社会の一員としての自覚をもつとともに地域への誇りと愛情をもつ。	
教 科	□学習の成果を自然事象の理解や日常生活における行動の仕方に生かす。	
生 活	<ul style="list-style-type: none"> □具体的な活動や体験をしながら、自分と身近な人・社会・自然とのかかわりに気付く。 □自分自身のよさに気付く。 	
道 徳	<ul style="list-style-type: none"> □進んで新しいものを求め、工夫して生活をよりよくする。 □生活を支えている人々や高齢者の方々に尊敬と感謝の気持ちをもって接する。 	
道 徳 指 導	□友達の良いところを認め、励まし合う。	□自分の生活を支えている人に感謝する。
	□社会生活の役割やその大切さに気付く。	□いろいろな職業や生き方があることがわかる。等

IV 指導事例

<指導事例1> 課題設定までの手順や考えの深まりを大切にした指導と評価（A小学校 第4学年）

- (1) 単元名 「公園たんてい団」
 (2) 単元の目標 地域の身近な公園を見直し、植物や施設などについて自分の課題をもち、様々な人と関わりながら課題を追究して、地域の人々の努力等を身近に感じ、自らもよりよい活動をしようとする。
 (3) 単元の指導・評価計画（40時間扱い）

主な学習活動	
一 次	身近な公園を見直そう ・落合の公園を見直す活動を通して公園の植物や施設、人などに関心を持ち公園について調べる課題をもち、
二 次	公園をさぐる ・課題に沿って公園を調べ、工夫して考えをまとめる。
三 次	公園へ行こう ・身近な公園に対する見方や考え方を深め、自分の生活に生かしていこうとする。

【課題設定の力】を育てる

公園めぐりの中から気付いたことや疑問に思ったことをいくつかもち、自分が取り組みたい課題をしぼることができるようにした指導事例

➡ P127

★学習活動に即した具体的な評価規準

- ①自分の思いや願いを大切に、体験の中から課題を見つけようとする。
 ②どのように解決したらよいか大まかにつかんで課題を設定する。

<指導事例2> 自己評価を生かした課題解決力を高める指導と評価（B小学校 第6学年）

- (1) 単元名 「レッツ・ボランティア」
 (2) 単元の目標 ボランティアや福祉活動に関心をもち、自分たちにできることを考え実践することを通して、自分のよさやボランティア活動の大切さや喜びに気づき、これからの自分を考えようとする。
 (3) 学習計画（30時間）

主な学習活動	
一 次	ボランティアを見つけよう ・体験や経験をもとに自分たちにできるボランティアを見つける。
二 次	ボランティアにチャレンジ！ ・計画を立てて実践を行い、それを振り返りながら、よりよい追究を行う。
三 次	活動や思いを伝えよう ・自分たちの活動内容や思いをまとめ、伝え広める。

【課題解決の力】を育てる

自分が行うボランティア活動について調べ、実行する計画を立てて実践し、振り返りと修正を行って、さらによりよい実践を行うことができるようにした指導事例

➡ P128

★学習活動に即した具体的な評価規準

- ①既習事項を積極的に生かし、課題解決する。
 ②自分の課題に適した効果的な方法で資料を収集したり調べたりする。

<指導事例3> 学習のあしあとを連続的に作品化していく過程における指導と評価（C小学校 第3学年）

- (1) 単元名 「成瀬の自然をさぐる」
 (2) 単元の目標 地域に残された里山探検から課題をもち、地域の人や友達とかかわりながら追究し、「尾根道の本」に自分の思いや考えを表現するとともに地域の自然を大切にしようという気持ちをもつ。
 (2) 単元の活動・評価計画（40時間）

主な学習活動	
一 次	尾根道たんけんに行こうⅠ ・「尾根道たんけん」に行き、自分の課題をみつける。
二 次	尾根道たんけんに行こうⅡ ・地域の人たちの協力を得て自分の課題について追究し、わかったこと、思いや考えを「尾根道の本」に表現する
三 次	みんなで発表会をしよう 自分の思いや願いが活かせる表現方法を選び、地域の人たちを招いて発表会をする。

【表現力】を育てる

自分の課題を追究し、わかったこと、思いや考えを自分自身の「尾根道の本」に表現する。その際、相互評価を活用させたり、自分や友だちの作品のよさに気付かせたりしながら、分かりやすく表現方法を工夫できるようにした指導事例

➡ P129

★学習活動に即した具体的な評価規準

- ①根拠をもって表現方法を選択する
 ②集めた情報を蓄積・整理して表現する

〈指導事例1〉 課題設定までの手順や考えの深まりを大切にした指導と評価（A小学校 第4学年）

○地域の公園を見直す活動を通して公園の植物や施設、人などに興味をもち、公園について調べる課題を設定するまでの場面（1~12/40）

〈児童の活動〉

- 今までの認識を覆す『公園クイズ』を行う
- 実際に行って確かめる『公園めぐり』を行う
- 学級全体で『ウェビングマップ』を作り疑問や発見を整理する
- 課題をグループで発表し合い、アドバイスし合う
- 自分の課題を明確にし、解決の見通しをもつ

〈児童の学び〉

- 「こんなところに防災倉庫があるよ。」
「誰が掃除してくれているんだろう？」
「え！知っていたはずなのに！！」
- ・ 意外な発見をする。
 - ・ 今まで見過ごしてきたものに気付く。
 - ・ 多様な疑問をもつ。
- 「こんなことも調べてみたいな。」
「あ！こっちの課題と関連している。」
- ・ 課題を広げる。・ 課題を分類・整理する。
 - ・ 情報交流により、新たな疑問や課題を見つける。（相互評価）
 - ・ 自分に合った課題を見つける。
- 「〇〇さんの課題は、調べるのが難しそうだね。」
「二つの公園を比べてみても面白いね。」
- ・ 意見交換をしながら、自分の課題を見つめ直す。（＝相互評価）
 - ・ 課題を深める。

〈教師の指導・評価〉

- クイズにより認識不足に気付かせ、今までと違った視点で公園に行くようにさせる。
- どんな発見をしたか、どんな疑問をもったかを学習カードの記述により把握する。
- 児童の疑問や発見をもとにして課題を分類する。併せて分類方法に慣れさせる。
- 自分の課題をつかもうとしているかを学習カードの記述により把握する。
- 調べ方等について、自分の考えをもって、意見交換を行うよう助言するなど、各グループを巡視しながら指導する。
- 解決の大まかな見通しがもてないために課題を変更した児童やグループの話し合いが有効にできた例を紹介する。

学習カード

公園めぐり

課題を書き込み、修正、変更したものを書き加えていく

公園クイズ

クイズでの疑問や感想を書く

公園めぐり

公園めぐりでの発見や疑問を書く

学習カード

その日の活動を振り返り、書き込む

(B 4 両面)

【課題設定までの手順やよりよい課題設定の力を身に付けさせる指導と評価の工夫】

- ◎ 課題設定までの学習を一枚の学習カードに書かせる
 - ・ 児童は活動を振り返ることができ、教師は思考過程をとらえて有効な評価と指導ができる。
- ◎ 学級全体でウェビングマップを作る
 - ・ 児童同士の情報交流の場となり『課題の例示』になる。さらに、発想の広げ方や分類の仕方を指導する場ともできる。
- ◎ グループごとに自分の課題を発表し合い、アドバイスし合う
 - ・ 教師はグループを巡りながら個に応じた指導を充実させることができる。
- ◎ 設定までの考え方がよい子どもの例をほめ、紹介する

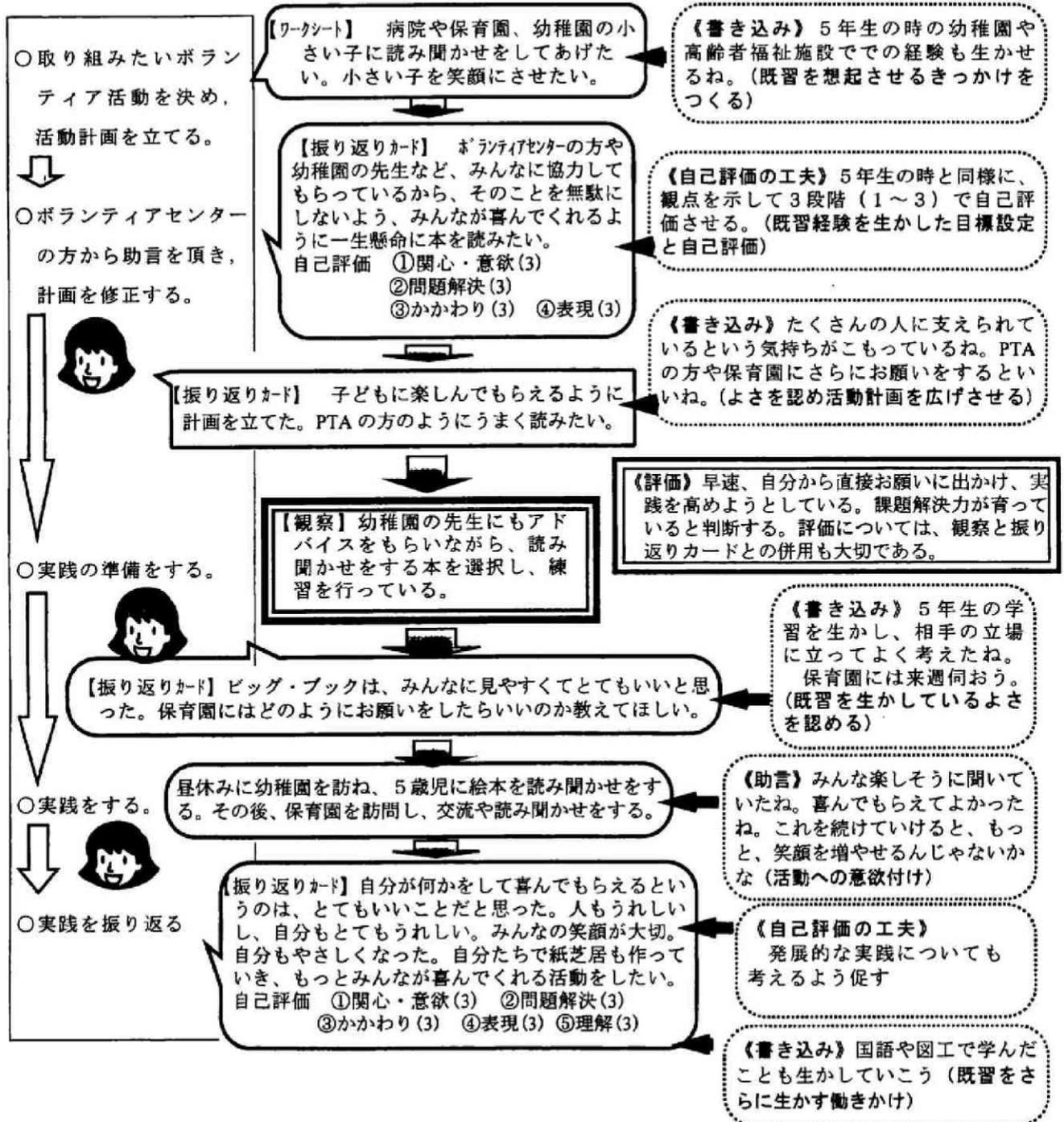
<指導事例2> 自己評価を生かした課題解決力を高める指導と評価（B小学校 第6学年）

第5学年では幼稚園や高齢者福祉施設での活動を通して、人の役に立つ喜びや働く人々の思い、福祉活動の大切さなどを実感として学ばせ、「町の人のためにいろいろな活動をしてみたい」という願いへと広げさせた。本単元はこれを受けた内容として位置付けている。以下の場面は、自分の活動について計画を立てて実践の準備に取りかかる場面である。（5～14 / 30）

<児童の活動>

<N児の学び>

<教師の指導・評価>



【自己評価を生かして課題解決力をはぐくむ指導と評価の工夫】

- ◎ 視点を明確にして自己評価が継続的に行えるように指導する。
- ◎ 教師は評価の観点を明確にもって、その育ちを認めるとともに、子どもの思いを受け止めながら、さらに高める指導や助言を個々の児童に伝える。
- ◎ 子どもの自己評価に教師の観察等を併用して評価を確かなものにする。

<指導事例3> 学習のあしあとを継続的に作品化していく過程における指導と評価

(C小学校 第3学年)

課題追究の過程において、児童一人一人が自分の「尾根道の本」を継続的に作成し、アドバイスカード等を使った相互評価や自己評価を生かしながら表現力を高める場面 (7~15/40)

<児童の活動>

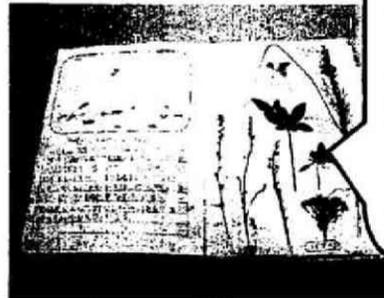
○自分の課題についているるな方法で調べる。

○調べたことを「尾根道の本」に表現する。

○友だちと作品を読み合い、アドバイスカードを使って自分の作品を振り返る。

S児への教師の指導・評価

- 資料コーナーに図鑑や本、地域の人からいただいた資料、インターネットで調べた資料(画像を含む)を用意する。
- 集めた花の名前を図鑑で調べ、押し花にして「尾根道の本」に貼ったのはいい工夫だったね。(対話)



わたしは、尾根道の花を押し花にして、花の名前を調べました。次に、花は、ひなたにあるかひかげにあるか調べてみました。
S児の「尾根道の本」より

- 地域の人にインタビューする活動では、国語や社会で学習したインタビューの方法を想起させる。(「分かったこと」だけでなく「思ったことや考えたこと」も書くようにさせる。)
- S児は地域の人のお話を全てメモにとっていたが、田や畑についての話を取捨選択し、さらに写真と文を対応させてまとめている。分類整理して表現する力が身に付いてきていると判断する。



畑は春と秋に種をまく、田んぼは、年に1回種をまくそうです。次は、どんな野菜を育てているかを調べたいです。
S児の「尾根道の本」より

相互評価・自己評価

- 「尾根道の本」を友だちと読み合いアドバイスカードを使って、友だちや自分のよさを見つけさせる。その際、表現方法についてのアドバイスを設ける。

Sさんへの アドバイスカード

アドバイスを書いた人	よいところはどこですか?	くふうした方がよいところはどこですか?
(自分の名前を書く) M	絵 文 写真 調べ方 読んで初めて知ったこと 自分と同じところ	絵 文 写真 調べ方 しつもん そのほか
	調べた事がきれいに書いてあった。だいがんがこんなに種類があるなんて!	何の図かんで調べたの? それから、写真をもうすこしはったら?

ふりかえりカード

友だちの作品やアドバイスカードを読んだときのことをふりかえり、かんそうを書きましょう。

思ったこと 考えたこと
よかったこと うれしかったこと
こまったこと いやだったこと
自分や友だちのよいところ
次は、こうしようと思ったこと

「写真をはったら。」とアドバイスカードに書いてもらったけど、本当は、大根の種類は本で調べて絵に書いたので写真をはれなかったんです。でも、今度は写真をはらうと思います。みんな見たこと感じたことをそのままかけていてすごいなあと思いました。みんな鈴木さん(インタビューした方)から教えてもらったことをわかりやすくかけていてすごいなあ。私も今度はがんばらなくっちゃ。 S児のふりかえりカードより

S児への教師の指導・評価

- 友達アドバイスを素直な気持ちでうけとめることができえらいね。写真は前にも使っていたし、大根は本で調べたので絵にしたのだから先生はよかったと思いますよ。(書き込み)
- 根拠を持って表現方法を選択していた点は、むしろ認められるべき事なので、教師が補足する。

【表現力を育てる指導と評価の工夫】

- ◎ 掲示物の工夫や資料コーナーの常設など学習環境を整えるとともに、他教科で培った表現の力を活用するよう助言する。
- ◎ 視点を明確にした相互評価・自己評価と表現活動とを組み合わせを行い、表現や追究への意欲を高めるとともに、一人一人への教師の助言を的確に行う。
- ◎ 表現活動の中に自分の課題とその理由、調べた方法、思いや考え、次の課題とその理由などを書かせると、思考の過程が明確化され、課題解決力などの指導と評価に役立つ。

Ⅳ 研究のまとめ

平成15年12月26日付で、学習指導要領の一部が改正された。(文部科学省告示第173号)改正された内容のうち、「総合的な学習の時間」についての改正事項は、以下のとおりである。

- ア 「各教科、道徳及び特別活動で身に付けた知識や技能等を相互に関連付け、学習や生活において生かし、それらが総合的に働くようにすること」をねらいに加えたこと。
- イ 「各学校において目標及び内容を定める必要があること」を規定したこと。
- ウ 「各学校において全体計画を作成する必要があること」を規定したこと。
- エ 「目標及び内容に基づき、児童生徒の学習状況に応じて教師が適切な指導を行う必要があること」を規定したこと。
- オ 「学校図書館の活用、他の学校との連携、各種社会教育施設や社会教育関係団体等との連携、地域の教材や学習環境の積極的な活用などについて工夫する必要があること」を明確にしたこと。

これは、各学校において、総合的な学習の時間における目標や内容が明確でなく、また、必要かつ適切な指導や、子どもたちにどのような力が育ったかの検証・評価が十分でないことが指摘されたためである。

今後、各学校においては以下の視点で、指導と評価について点検し改善して、総合的な学習の時間の全体計画の作成と実施を充実させる必要がある。

1 身に付けさせたい資質や能力を明確にする

各学校においては、総合的な学習の時間において身に付けさせたい資質・能力について具体的な姿を設定することが必要である。

そのため、各学校が設定する評価の観点について、その趣旨を明らかにし、評価規準を設定する必要がある。その際、各学年段階を考慮した設定が重要である。

なお、本部会では示すことを省いたが、総合的な学習の時間の内容についても考慮して評価規準を設定し、さらに学習活動に即した具体的な評価規準の設定が必要である。

2 連続的・関連的な指導を工夫する

各教科において身に付けた学習内容や方法、そして、これまでの総合的な学習の時間において身に付けてきた力を生かしながら、総合的な学習の時間の活動に取組ませることが必要である。そのためには、各学年段階の指導に連続性をもたせることが大切である。

各学校において、総合的な学習の時間の「学校としての全体計画」を作成する際には、教科等との関連や学年段階間の指導の連続性等について配慮することが重要となる。

3 評価を生かした指導の方法を工夫する

評価と指導の一体化を図り、児童一人一人が資質・能力を着実に身に付けていくことができるようにするために、評価方法、指導・支援方法を工夫・改善することが重要である。

児童一人一人の主体的な学びを促すとともに、評価及びそれに基づいて個に応じた指導を行うためには、児童の活動の姿から学習状況を把握することが必要であり、その際、学習カードへの記述は有効である。有効な学習カードには次のようなものがある。

- (1) 問題設定までの手順や経過、及び解決の計画や実行などを記述した学習カード
- (2) 自己評価カード
- (3) 相互評価カード

これらのカードを活用する際には、児童に書く観点を明確に示し、よい書き方を紹介するなどして記入の仕方を指導しておく必要がある。また、教師の観察や対話による評価と併用して活用すること、児童の思いや考え、努力等を受け止めるとともに、評価の観点を明確にもって教師は的確によさを認めたり、よりよくするための指導・助言を行うことなどが重要である。